

# しあわせ

5 月 号



花びらは散っても

花は散らない

(金子大栄)

## 「手を合わす母」

五月、新緑かおる時候となったがウクライナの惨状を思うといたたまれない。

ロシアの暴挙に我々日本をはじめ西側諸国は大きな怒りと悲しみを強く感じつつも止めることができない無力感にさいなまれる。

核をはじめ、兵器の強力化が進んだ今日、小競り合いはあるにしても本格的な戦争は起らないと錯覚を起こす戦後の日本の発展だった。

しかし、一気に中国やロシアを意識しなければならぬ状況となり、人間の愚かさや怖ろしさを突き付けられた。戦争の惨禍を知らない平和ボケと揶揄される日本人への警告のようにも感じる。

今月二十一日は降誕会、「さるべき業縁のもようさば、いかなるふるまいもすべし」親鸞聖人のお言葉が厳しく身にせまってくる。

どんな屁理屈をつけてでも正当化すれば何でもやってしまう人間の恐ろしさをプーチン大統領は、大きな犠牲を伴って私たちにつきつけた。

## 法座案内

△御誕会法要▽

五月 十七日(火) 昼席・夜席

十八日(水) 昼席

講師 服部法樹師

(豊浜町 登照寺前住職)

△法味の会▽

五月 二十七日(金) 午前十時

お話し 自坊住職

※本堂内は常時換気しておりますが、参拝の際は、検温・マスク着用をお願い致します。

府中町山田二丁目一五十三

栢原山 龍仙寺

電話(〇八二二八)一四八二



今年もあつという間に桜が散りましたが、今月は金子大栄先生の言葉をご紹介します。

### 花びらは散っても 花は散らない

不思議な響きをもったことばですね。しかし、よく考えてみれば、わたしたちが桜の花に心うたれるとき、それは花びらだけを見ているわけではありません。きびしい冬をたえしのび、小さくともたくましい蕾をつけ、花ひらき、惜しげもなく散っていく。そのすべてがわたしたちの心をうつ〈桜〉なのでしよう。その〈桜〉そのものは、たとえ花びらは散っても、出遇った人の心に残り続けます。

いのちも同じだと金子先生は仰るのでしよう。赤ちゃんの産声だけが〈いのち〉の姿ではありません。生まれ、年を重ね、病を抱え、人生を終えていく、そのすべてが〈いのち〉なのでしよう。その〈いのち〉の物語は、たとえ人生は終わっても、亡くならないのだと。

花びらは散っても、花は散らないのです。

ただ、理屈では何となくふわっとうなづけるのですが、この言葉の意味を自分のなかで具体的に見通していくことは、容易ではありません。以前、日曜学校でこの言葉を紹介したところ、一年生のある女の子がいました。「あ、わかる。それはわかるんよ。花びらが散っても枝が残るってことじゃろ？」

うーんちよつと違うような…と思いつつもそれ以上説明できませんでしたが、この言葉はどう受けとめていけばよいのでしょうか。

今年七日は梯実圓和上のご命日ですが、和上はいのちについて、こう仰っていました。

「みなさんがた、わたしが死んでもけつして、かわいそうに、という言葉だけは使わんとつてくださいなあ。ああ、これだけはハッキリ、言わせてもらつときますわ。

生まれたものは必ず死んでいきますなあ。

その死が、もしかかわいそうなことやったら、わたしらみんな、かわいそうになるために生まれてきた、いうことになりますな。それは、おかしいと違いますか。

死がかわいそうなことではなく、いのち終えていくことを、さびしいこと、かわいそうなこと、としてしか受け止められない、わたしらの心がさびしいんですなあ。

わたしはかわいそうになるために生まれてきたと違います。浄土に生まれさせていただくために生まれてきたんです。せやから、わたしが死んでもけつして、かわいそうに、いう言葉だけは使わんとつてくださいなあ。」

わたしたちは、有縁の方の「死」に遇うとき、ご遺族に「さびしくなられましたね」と声をかけることがあります。わたしもそうです。また、ときには「まだ若いのかわいそうに」という声も聞かれますし、「身内に不幸がありました」ということもあるでしょう。

言うまでもなく、愛する人を亡くすということは、さびしいことです。愛別離苦といわれるように、それは生きる苦しみの最たるものです。しかし、いのちを終えていくこと自体がさびしいことであるかどうか、それは話が違います。誰しも、さびしくなるために生まれてきたのではないからです。

いのちには終わりがありません。けれども、いのち終えていくことの意味をどのように受けとめていくか、それはわたしの生き方にかかっています。仏さまの仰せのなかに、浄土に生まれて仏となるご縁として命終えることの意味を聞きひらく人には、人生の終わりはあっても、むなしい亡びは存在しません。

ともにお念仏いただき、仏さまの仰せのなかに、言い切らせていただきます。人生は終わっても、わたしは亡くならない。花びらは散っても、花は散らないと。